

『ソフトウェア開発の会計・税務・リスクマネジメント』 お詫びと訂正

本書におきまして誤りがございました。謹んでお詫びいたしますとともに、下記のように訂正いたします。

株式会社 中央経済社

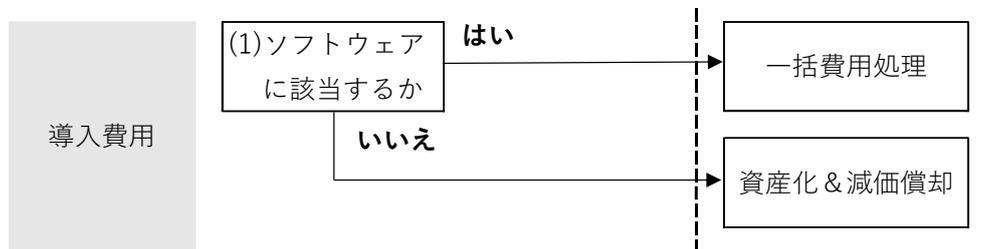
① 91 頁 下から3行目～4行目

<誤> 特に企業グループ外部で構築された**パブリック**クラウド上で

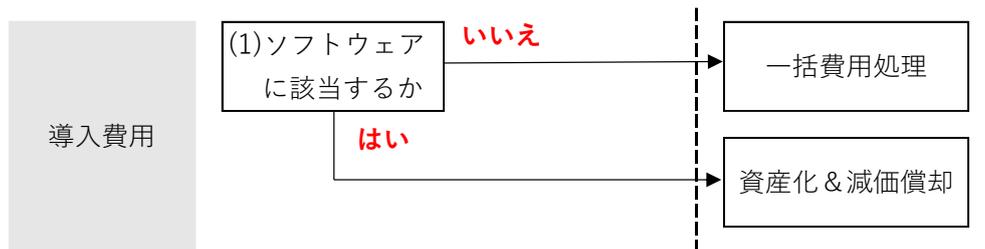
<正> 特に企業グループ外部で構築された**プライベート**クラウド上で

② 93 頁 図表 2-2-9 下部

<誤>



<正>



③ 180 頁 下から1～2行目

<誤> 契約獲得のための増分コストおよび契約を履行するためのコストは、IFRS 第
ん。そのため、

<正> 契約獲得のための増分コストおよび契約を履行するためのコストは、IFRS 第
15号では資産計上が求められますが、日本基準ではこのような規定はありませ
ん。そのため、

④ 200 頁 図表 3-1-5

キャプション

<誤> 既存ソフトウェア等の**使用**を大幅に変更する場合

<正> 既存ソフトウェア等の**仕様**を大幅に変更する場合

区分欄1つ目

<誤> 既存ソフトウェア等の**使用**を大幅に変更

<正> 既存ソフトウェア等の**仕様**を大幅に変更

区分欄2つ目

<誤> 新たなソフトウェアを製作するために、既存ソフトウェア等の**使用**を大幅に変更

<正> 新たなソフトウェアを製作するために、既存ソフトウェア等の**仕様**を大幅に変更

⑤ 310 頁 下から2行目

<誤> 例として**4**つのケースを紹介します。

<正> 例として**3**つのケースを紹介します。

⑥ 311 頁 上から9行目～12行目

<誤> アクセス権を必要最小限に保つことについて、ivでは、**ログの記録と保全の重要性といった可監査性の確保を目的に「ルールどおりに運用されている」ことを効率的に説明するために関連するログの記録と保全を行うことについて、解説**します。

<正> アクセス権を必要最小限に保つこと**について、解説**します。

以上